

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立熊谷高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。生徒の実態や学校の現状に応じたものであるとともに、「世界に貢献できる人材を育成する」ことを掲げ、生徒・保護者・卒業生などの期待に応えるものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	伝統校としての実績・地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確に示されており、日々の教育活動の指針となる優れたものとなっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	「アドバンス委員会」、「学習指導部」などの組織体制が整備され、学校自己評価システムに基づく取組が動き始めている。学校全体と分掌・年次との連携及び分掌・年次間の連携を図り、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討して、教職員全体の参画を更に促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	進学型単位制の導入、スーパーサイエンスハイスクール事業の取組など多様な方策が実施され、具体的な成果も上がっている。評価指標については、前年度の課題と改善策や学校関係者の意見を踏まえて検討することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校や生徒の現状を踏まえ、「厚みある人間力をもったリーダーに育てる」という方針を持ち、取り組んでいる。校長的的確なリーダーシップの下、現在抱えている課題について、教職員が共通理解を深め、解決に向けて学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者アンケートなどを実施し、結果を分析して授業改善や学校自己評価のための情報が収集されている。学校自己評価システムを有効に活用し、前年度の課題を次年度の目標・方策に具体的に生かせるように、PDCAのスパイラルアップを進めていただきたい。	
特記事項			